

平成26年度(平成25年度決算)事業評価シート(半田市議会)

委員会名 文教厚生委員会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活できるまちになっています。 ●介護保険制度が正しく運営され、要介護の状態となったときにだれもが必要な介護サービスを受けられる環境が整っています。	部課等名	福祉部地域福祉課	評価表整理No	15-005
事務事業名	福祉センター管理運営事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		高齢者・障がい者・ひとり親家庭の社会参加や活発な活動を図る施設として、福祉センターの管理運営事業は必要であると考ええる。
	②有効性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
75			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		カラオケや舞踊等のイベントが行われているが、高齢者の社会参加という目的に沿って事業が実施されているのか疑問がある。 また、利用者の多くは固定されていることが課題である。 今後市内各所に、高齢者施設の整備が進められていく中で、事業の中心として、独自の事業メニューを考えるべきである。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)	○	
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
35			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)	○	高齢者の社会参加の促進、福祉の観点から考えると、半田市が責任を持って取り組む事業であると考ええる。
	②妥当性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
85			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> 半田市の高齢者・障がい者・ひとり親家庭の中心的な役割を持つようにして事業に取り組むこと。例えば、リーダーやコーディネーター等の養成や講習が出来る事業を行うこと。また、地域では出来ない事業(高額な設備を伴うものや手間がかかるもの等)を行うなど、独自の事業メニューを定めること。 老人クラブ、シルバー人材センター、各地域、日本福祉大学など、多くの関係機関と連携を深めて、更なる高齢者の社会参加を図るようにすること。 事業の目的に沿った設計図をしっかりと描き、委託先を指導できる体制にすること。 施設の利用実績について、高齢者・障がい者・ひとり親家庭・一般利用を区別し、正確に把握して報告すること。
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> 半田市の高齢者・障がい者・ひとり親家庭の事業の中心的な役割を考え、事業改善に沿った予算編成をすること。
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターの在り方について考える検討委員会を作り、立て直しを図るべきである。 亀崎地域総合福祉センターの管理運営を参考にして、市民協働の体制で運営するべきである。